

務 長 課 長 事 職 員 公営企業総務課長 教育委員会総務課長 教職員課長

オンライン参加可能



日経東発第60016794·60016795号 令和3年3月17日

一般社団法人 日本経営協会 理事長 岡島 芳明

# NOMA行政管理講座開催(ご案内)

殿

# 地方自治体における

# 問題ある職員への法的対応策と分限処分・懲戒処分のポイント

<令和3年6月28日(月)・29日(火)>

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申しあげます。

本会事業には、平素より格別のご支援・ご協力を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、公務員制度をめぐる情勢が混沌とする中、勤務実績不良や能力不足で職場の秩序を乱す「問題ある職員」は、 現場の管理者や人事担当者にとって非常に悩ましい存在です。昨今では、メンタルヘルス、ハラスメント、スト-カー、多重債務、自己破産などに関わるトラブルも増加しており、こうした問題を抱える職員は、庁内への影響だけで なく、公務員自体のイメージ低下の要因ともなり得るため、迅速かつ的確な対応が求められています。

とりわけ、2019年5月には改正労働施策総合推進法が成立し、パワーハラスメントの防止措置を講ずることが事業 者の義務とされました。2020年6月に施行されたことで、パワーハラスメントやその他ハラスメントへの対応が急務 となっています。また、2018年6月には働き方改革関連法が成立し、2020年2月には人事院規則で時間外勤務の上 限規則が改正され、使用者に職員の過重労働を防止するための適切な対応が問われています。

本講座では、自治体の「問題ある職員」への法的対応策や人事管理上の留意点について、判例や事例も交えてわかり やすく解説いたします。

時節柄公務ご多忙の折とは存じますが、この機会に関係各位多数のご参加をお薦め申しあげます。

敬具

(12:30から受付)

時: 令和3年6月28日(月) 13:00~17:00

6月29日(火)10:00~16:00

かずのり ひらぎの 講 師:弁護士 柊木野 一紀氏

会 場:日本経営協会内専用教室

(東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-11-8)

オンライン会場(Zoom による Live 配信)

参 加 料:会員(1 名) 31.900 円(稅込) (負担金)一般(1名) 35.200 円(稅込) 記 2 サンドウィッチ サブウェイ 東京メトロ 副都心線 般社团法人 日本経営協会 北参道駅下車 プ共済プラザ 3番出入口徒歩1分 **∱** 3 明治神宮-←至千駄ヶ谷 首都高速 面響用 リ芸 ★JR代々木駅の正面(西口)改札 を出て、宝くじ売場と富士そばの 間の道を進んで下さい。 田治涌りを原宿方面に進み コン JR山手線·総武線·都営大江戸線 代々木駅下車(西口)徒歩7分 ビニ・ローソンの先のビルです。 〈会場案内図〉

申込方法:①Web申込…本会ホームページ上の「セミナーお申込ボタン」を押し、必要事項をご入力下さい。(オンライン参加の場合はできるだ け web からお申込みください)

②FAXまたは郵送申込…裏面申込書に必要事項をご記入の上、下記へお送り下さい。

受付次第、参加券および請求書をご連絡担当者宛にお送りいたします。

・開催3営業日前までに参加券が届かない場合は、お手数ですがご連絡下さい。

・お申込みは会場参加の場合は開催日の3営業日前までに、オンライン参加の場合は5営業日前までにお願いいたします。 ・本講座は、会場参加・オンライン参加をおぞれ定員になり次第締め切らせていただきます。 入金方法:お申し込み後、キャンセルされる場合は必ず事前にご連絡下さい。

開催日の3営業日前~前日のキャンセルは参加料の30%、開催当日のキャンセルは100%をキャンセル料として申し受けます。

なお、当日までに連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承下さい。

その他: 参加者が少数の場合、天災、その他の不可抗力の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

○オンライン参加での留意事項

- ・オンライン参加をご選択いただいた方には別途詳細をご案内いたします。 ・テキストは事前に送付もしくはデータ送信させていただきます。

## お申込み お問合せ先

 $\Box$ 



# 般社団法人 日本経宮協会

(お問合せは平日の月曜日~金曜日の9:15~17:15にお願いいたします)

東京本部 企画研修グループ

〒151-8538 東京都渋谷区千駄ケ谷3-11-8

TEL(03)3403-1891(直) FAX(03)3403-1130

E-mail:tks@noma.or.jp URL http://www.noma.or.jp

# NIPPON OMNI-MANAGEMENT ASSOCIATION

# ★WEBからもお申込みできます! がとうインを申込される場合はできるだけ WEBからの申し込みをお願いいたします。

http://www.noma.or.jp/seminar/tabid/138/Default.aspx

**NOMA** 

検索

# ▶プログラム◀

## 第Ⅰ部:職員の身分保障の基本を理解する

- 1. 職員の身分を保障するための制度
- 2. 分限処分及び懲戒処分の基本(公正の原則)
- 3. 分限処分とは
- 4. 失職
- 5. 懲戒処分とは
- 6. 退職手当の支給制限
- 7. 分限処分と懲戒処分の関係
- 8. 不利益処分に関する審査請求

## 第Ⅱ部:問題ある職員への対応①

〔個別ケースへの対応:健康問題への対応〕

- 第1. はじめに
- 第2. 労働者の健康問題に対する最高裁の考え方
  - 1. 職場における健康の意味と責任主体
  - 2. 最高裁電通事件判決の考え方
- 第3. 労働者の健康問題と労働時間管理等
  - 1. 時間外労働の上限規制
  - 2. 労働時間管理の手法等(時間管理がルーズな職員への対 応)
  - 3. 安衛法及び労災認定における労働時間の計算方法(自宅 での持帰り残業)
  - 4. 労働時間管理のポイント

#### 第4. 労働者の健康問題と労働安全衛生法

- 1. 健康診断(労働安全衛生法 66 条以下)を拒否する職員
- 2. ストレスチェックを拒否する職員への対応
- 3. 精神疾患が疑われる職員に対し受診命令ができるか

#### 第5. 健康診断とプライバシー・個人情報

- 1. 地方公共団体が健康診断の結果を知るために職員の同意 が必要か
- 2. 職員の健康状態にアクセスすることはプライバシー侵害になるか
- 3. 取得後の健康・医療情報の管理
- 4. 精神障害の健康診断結果を家族に知らせることはプライバ シー権の侵害にあたるか

## 第6. 健康問題と採用時の留意点

- 1. 健康障害を理由とする採用拒否と面接時の留意点
- 2. 任用後に過去の病歴等が発覚した場合の対応
- 3. 障害者雇用促進法と精神障害を理由とする不採用

#### 第7. 精神障害を発症した場合の実務対応

- 1. 発症前の時間外労働時間数を目安として着目
- 2. 業務との因果関係に関する判断は基金に委ねる

#### 第8. 分限休職の際の留意点

- 1. 休職期間満了時における復職の判断と主治医の診断書の 取り扱い
- 2. 傷病休職・復職が繰り返される場合の対応策
- 3. 問題行動が心の不健康に起因すると思われる場合の対応
- 4. リハビリ出勤(トライアル勤務・試し勤務)の注意事項

#### 第9. 降任、退職、免職の際の留意点

- 1. 降任と賃金
- 2. 分限休職に付することなく分限免職ができるか
- 3. 退職勧奨を行う場合の留意点
- 4. 精神疾患者を「その職に必要な適格性を欠く」との理由で 分限免職できるか

## 第皿部:問題ある職員への対応②

[個別ケースへの対応:健康問題以外]

- 第1. 勤務実績不良・適格性欠如への対応
  - 1. 出勤不良の職員
  - 2. 勤務態度不良の職員

#### 第2.ハラスメント問題への対応

- 1. セクシュアル・ハラスメント
- 2. マタハラ等(妊娠・出産、育児休業・介護休業等に関す るハラスメント)
- 3. パワー・ハラスメント
- 4. 職場内での録音行為

#### 第3. その他の問題行動への対応

- 1. 職員の批判的言動への対応は
- 2. 始末書の提出に応じない職員への対応は
- 3. 服装や髪がだらしない職員への対応は
- 4. 退職後に不正が発覚した場合の対応策

# 第4. 私生活で問題を起こす職員への対応

- 1. サラ金で多重債務を抱えている職員への対応は
- 2. いわゆるヤミ金融業者から執拗な電話・来訪を受けたことで 公務に支障が生じた場合に、借金した職員に対して懲戒処分 は可能か
- 3. 自己破産者に対して懲戒処分は可能か
- 4. 宗教の勧誘で同僚等とトラブルを起こす
- 職場外で刑事事件(万引、自動車事故等)を起こした職 員に対して懲戒処分は可能か
- 6. 職場外でアルバイトに励む

#### 講師紹介

#### 柊木野 一紀氏

早稲田大学法学部卒業 1998年 司法試験合格 2001年

2003年 司法修習修了(56期)

弁護士登録 (第一東京弁護士会)

石嵜信憲法律事務所

(現 石嵜・山中総合法律事務所) 入所

# 講座申込み: FAX (03) 3403-1130

60016794·60016795 『問題ある職員への法的対応策と分限処分・懲戒処分のポイント』参加申込書 ※NOMA記入										
]会場参加	□ □オンライン参加	〕(該当欄にし	(印)				令和3	年6月2	8日~29日	□会員 □一般(該当欄にレ印)
役所名				電話		(	)	内	線	<ご連絡担当者>
				FAX		(	)			所属
所在地	Ŧ									<sub>フリガナ</sub> 氏名
フリガナ 参加者氏名		所属部課役 職 名						経験年数	年 ケ月	メールアドレス  <連絡事項欄>
フリガナ		所属部課						経験	年	- Address (2017-2018) C

年数

役職名

参加者氏名

申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。 ①参加券・請求書の発送および参加者名簿の作成などの事務処理 ②本会主催のセミナー、展示会、通信教育などのご案内

②がご不要の場合は□にチェックしてください。── □不要

ケ月 <sub>| ※オンライン参加の場合はメールアドレスを必ずご記入ください</sub>